



2024ジェンダー平等ミーティング

ジェンダー平等ミーティング

令和6年度
若い世代からの
ジェンダー平等
推進事業

2024年11月8日(金)テーマ
「“働く”とジェンダー」



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS





IYOU淡海「しがミモザカレッジ」と連携して(株)平和堂本部へお出かけし、

女性活躍推進の取組などについて学びました。

テーマ

“働く”と
ジェンダー



施設の見学や、働いておられる方との交流をとおして、

働く中で自分が成長できるということや、「なりたい自分」に対する理解を深めました。

「“働く”とジェンダー」

講師：(株) 平和堂より

- 多様な人材の活躍をめざして、まずは平和堂で一番多いマイノリティである女性の活躍を推進している。
- (そのためにも) 男性育休の取得を推進。
- 男性が育休を取ることの意義、大切さについて事前に説明、女性の意識改革にもつなげている。
- 女性が働きやすい職場は、男性も働きやすい職場。
- 今の若い世代は学校でジェンダー平等などについて学んでいるが、学校から社会(会社)へ出る際に“ギャップ”がある。そのギャップがなくなるようにと考えている。

- デリカバイヤーとして、自分の思いや考えを「お店にどう落とし込むか」ということを常々大切にしている。
- バリバリ営業というよりも、みんなで楽しくという方が自分には合っていた。
- まずは責任者（主任）となることをめざした。その次のステップとして何がしたいかを考えたとき、「人を教えた」という気持ちが出てきた。
- いろんな人の話を聞きながら商品開発をするのはとても楽しい。
- 家庭をもったときに「平和堂に入ってよかった」と思った（育児や介護の制度が整っていた）。
- 自己成長できる場や、いろんなチャレンジを与えてくれるフィールドがここにはある。

- 初め青果売り場へ配属されたが、自分は野菜が苦手だった。ある日、お客さんから「どうしたらおいしく食べられますか」と質問されて、それから自分でいろいろ考えるようになった。
- 働いているといろんな“転換点”がある。
- 男性育休を取得した。自分も初めての育児だったが、パートナーももちろん初めて（初めてで同じようにいろいろ分からない）。そのことに気づいたとき、「男性が仕事、女性が育児」といったバイアス（女性は育児をするものだから初めてでも大丈夫？）を自分がもっていたことを実感した。
- 1か月の育休期間は、生活基盤を整えるために（いろいろ学ぶために）使った。
- 男性、女性関係なく「学ぼう」と思ったら学べるし、思いをもって動いたら結果は出る。

- 就職前（就活時）、日々のルーティンにつまらなさを感じていた。自分と同じような「つまらなさ」を感じている人が実は多いのでは、と思っていた。
- みんなにワクワクしてほしい、といった思いが大きくなっていった。
- 平和堂を選んだ理由は、社会に対するアクションやキャリアフローが明確だったから。
- 自分は結婚などにあまり興味がなかった。結婚しないとマイナス？と思っていた。
- 今は、結婚している/していない、子どもがいる/いない、男性/女性・・・といった“属性”で扱われない、そういう集団の中で働いている。
- 自分がどうしていききたいのか、どうなりたいのか、を軸に！

感想(マイアクション)

- 人を属性で判断しない
- 自己成長できるフィールドを～目的、目標をもち、楽しさを感じながら働く!!
- 利益などの結果のみを意識するのではなく、その過程にある周囲の人や対象となる相手との協力や、思いをもつことを大切にする
- まずは知ることが大事。人と「話しをする」ことが最初の一步!
- 自己成長を続ける将来設計を!“就活はゴールではない”
- 自分がどんな人生を歩みたいのかを見つめ直したうえで、進路選択をする

感想(マイアクション)

- ・自分なりの軸を考え理解する!
- ・個人で成果を上げるのではなくチームで成果を出していきたい。どうすればキャリアを積み重ねていけるのかが分かりやすい方がモチベーションが上がる、力をつけていきたい
- ・仕事軸を見つける
- ・流れの中で自分の“軸”を探す
- ・自分のやりたいことを大切にする
- ・自己実現、自己成長ができるような人生設計を!まずやってみる思いをもち、「なりたい自分」へ向かっていく